

学校名	北海道大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ バイオセーフティレベル2に合致した実習設備の整備によりバイオハザード対策を強化し、病原微生物の取り扱いに関する教育の充実を図ることにより、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	帯広畜産大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 家畜生産獣医療学（5年次前期）、総合臨床学実習Ⅱ（5年次後期）において、サーモグラフィや携帯型超音波診断装置等を活用することにより、家畜防疫の専門技術の修得を目的とする実践教育を推進することが可能となり、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 産業動物の臨床診断に加えて、病原微生物の診断同定等の取組も充実していただきたい。
- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	岩手大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 「病原微生物学実習」（3年次）や「衛生微生物学実習」（4年次）において、安全キャビネットやCO₂インキュベーター、嫌気性菌・微好気性菌培養装置等の設備を活用することにより、採材から病原体同定までの一連の手技の習熟を図ることが可能となるなど、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 臨床実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	東京大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 細菌感染症やウイルス感染症、寄生虫感染症の中からモデルケースを設定し、遺伝子診断や血清診断法を中心とした感染診断法を、参加型実習によって体験することを目的としており、産業動物における伝染病診断法の理解や、基本的技術の習得が可能となるなど、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 生きた感染性微生物の取り扱いに関する実習も充実していただきたい。
- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	東京農工大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 安全キャビネットの充実、炭酸ガス細胞培養装置の活用により、ウイルス性家畜感染症を対象とした実習を強化するとともに、バイオイメージアナライザーの整備により、感染症が発生した場合の遺伝子診断技術や新しい病原体検査技術の習得が可能となるなど、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	岐阜大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における臨床実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 「獣医衛生学実習」（5年次前期、必修）において、OIEが示すミニマムコンピテンシーを考慮しつつ、家畜の飼育環境と管理、疾病予防・診断、安全性評価等の家畜衛生に関する基本的技能の修得が可能となるなど、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	鳥取大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における臨床実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 「微生物学実習」「公衆衛生学実習」「獣医衛生学実習（開講予定）」において、安全キャビネットや遺伝子増幅装置を活用し、バイオハザード対策に則った微生物学的検査方や病原体の遺伝学的情報に基づく診断法の習熟が可能となるなど、疾病統御の実践的教育の充実・強化が図られ、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	山口大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ バイオセーフティレベル2の実習設備の整備により、「獣医微生物学実習」「公衆衛生学実習」「獣医寄生虫学実習」において、病原細菌・病原ウイルスの分離・同定や、寄生虫の形態及び遺伝子確認等に基づく診断技術を習得すること等が可能となるなど、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	宮崎大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 「動物感染症・人獣共通感染症学実習」におけるGISシミュレーション学習システム等を活用した家畜防疫に関するシミュレーション実習の実施や、可動式豚舎を活用した豚を対象とした防疫、隔離、飼育、診断、部検の一連の流れに習熟できる実習が可能となるなど、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ GISシミュレーション学習システム等を活用したシミュレーションの実習について、学部学生に適した内容・レベルとなるよう留意していただきたい。
- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	鹿児島大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 「微生物学」「公衆衛生学」「獣医衛生学」「伝染病学」「家禽疾病学」「微生物学実習」「公衆衛生学実習」において、安全キャビネット等の活用により、病原体の分離、培養、同定、保管、滅菌などの病原体の取り扱いに関する一連の作業を、学生が体験できる機会の充実を図ることが可能となり、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	大阪府立大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 「獣医微生物学実習」（3年次）、「獣医衛生学実習」（4年次）、「獣医衛生学実習」（4年次）において、除染テントや動力噴霧器の活用による、外部機関と連携した実践的な防疫訓練や、赤外線体表測定モニター等の活用による、病原微生物の分離同定や得られた菌株の分子疫学的解析が可能となるなど、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 実践的な防疫訓練はこれまでにない新たな取組であり、可能な範囲で全国の獣医系大学の学生で利用できるような配慮が望まれる。
- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	酪農学園大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- リアルタイムPCR等の活用により、獣医伝染病学実習（4年次後期必修）、獣医公衆衛生学実習（5年次通年）、総合臨床学実習Ⅶ（5年次前期）等において、実地に行われている迅速な人獣・共通感染症の診断技術の習得が可能となるなど、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	北里大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ バイオセーフティレベル2の実習設備の活用により、少人数グループでの基礎実習や、BSL2病原体を用いた実習が充実するなど、参加型実習の質の向上が期待される。

【要望事項】

- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	日本大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 「獣医微生物学実習」「獣医伝染病学実習」「獣医衛生学実習」「獣医公衆衛生学実習」において、サーマルサイクラーやCO₂インキュベーター等の活用により、遺伝子診断技術の習得やウイルス・細菌の同定・分離及び保存等の取組の充実が可能となるなど、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	日本獣医生命科学大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 獣医総合演習（5，6年次）において、ルミノイメージアナライザー等を活用することにより、原因病原体の分離・検出を迅速に実施することが可能になるなど、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。

学校名	麻布大学
取組分野	2. 感染症等対策分野における参加型実習の充実・強化

【選定理由】

- ・ 感染症診断関連実習において、フローサイトメーター（FCM）やイメージアナライザー（IA）の活用により、ウイルスの細胞への感染成立についての解析技術の習得が可能となるなど、参加型実習の質の向上が期待できる。

【要望事項】

- ・ 実習の実施にあたって、事前教育の実施や参加教員の充実等により、学生の安全確保に努めていただきたい。